

## 第 16 回大会宣言（案）

安倍政権は秘密保護法、戦争法に続き、森友学園、加計学園を始めとした醜聞の中、強引、かつ、異例の手続きにより共謀罪を成立させました。これにより、さらに戦争が身近になったとっていいかもしれません。しかし、その後、政権の支持率は 30%前後まで落ち込んでいます。多くの市民が安倍政権に“ノー”を突きつけています。

政府は「働き方改革」の名のもとに、止めどもない雇用の不安定化と長時間労働を推し進めようとしています。こうした中、連合は企画業務型裁量労働制の拡大と高度プロフェッショナル制度について修正をもとめる要請書を内閣総理大臣宛に提出しました。過労死・過労自死が蔓延する社会の中、長時間労働の助長を看過するような要請書を内閣総理大臣宛に提出するという行為は、働く者の現場感覚とはあまりにもかけ離れています。全国ユニオンは、連合の要請書の提出に対して、いち早く声明を発し、いわゆる政労使合意について歯止めをかけることができました。

この声明は、全国ユニオンが働く者としての誇り・尊厳を取り戻す闘いを展開し、社会に発信し続けてきたからこそできたものです。私たちが求める改革は、一人ひとりが自分らしく、尊厳をもって働けるディーセントワークの実現です。引き続き、自身と確信をもって、企画業務型裁量労働制の拡大と高度プロフェッショナル制度に反対運動を力強く進めていきましょう。

全国ユニオンは、本日、第 16 回大会を迎えました。

安倍政権は、依然として東日本大震災で停止していた各地の原発の再稼働を進めています。また、沖縄では民意を無視して米軍基地建設を進めています。

悪政によって希望が削り取られる社会の中で、今こそ労働運動が働く者にとって希望となることが求められています。希望となるためには、働く者に寄り添い、声を聴き、力を合わせて運動をつくり上げていくこと、そして正規も非正規もすべての働く者の尊厳ある働き方の確立、だれもが居場所のある地域づくりに向けた取り組みが必要です。同時に脱原発や戦争を阻止する運動にも注力していかなければなりません。

私たち全国ユニオンは、一人でも多くの働く者の「希望」となれるよう、運動を展開していきましょう。

以上、宣言する。

2017 年 7 月 22 日

全国ユニオン第 16 回定期大会